



ネットヨタ三重&リーガ編集室 presents

新企画スタート!

伊賀白鳳高等学校

部活応援隊が行く!!

陸上競技部 長距離ブロック 編

伊賀白鳳高等学校 陸上競技部 長距離ブロック

「自主自立」で自らが行動に移し、お互いを刺激し合える仲間と走る

数々の駅伝大会で好成績を残す伊賀白鳳高校陸上競技部の長距離ブロック。卒業生には箱根や各地の駅伝をめざすメンバーも輩出しています。さらなる安定した走りを実現するため、3年生を含む22人で練習に励み、結実力を強めています。

Q1 部活の魅力は?

A1 (小田垣さん) みんなで元気に走れることです。



主将(2年生) 小田垣 栞周さん (おたがき ましゅう)

Q2 主将として心がけていることは?

A2 (小田垣さん) 全員が不安にならないような確かな指示を出すように心がけています。

Q3 陸上競技部の強みは?

A3 (小田垣さん) 孤野や四日市、鈴鹿、鳥羽と県内の様々な地域から通っている部員がいます。頑張ろうという気持ちが強くて、陸上に対する思いは熱いです。

Q4 現在の目標は?

A4 (小田垣さん) 個人的に5000メートルでインターハイ出場、チームとしては全国高校駅伝大会「都大路」の出場をめざしています。



Q5 部活での課題とその対策は?

A5 (小田垣さん) 3年生は厳しいことも遠慮せず言い合えるチームでした。今はまだお互いに甘えてしまうところがあるので、しっかりと自分たちのチームをつくらせていきたいです。

(三平さん) 練習中や生活態度は厳しく、時にハメはずすなどオンオフを切り替え、部員同士が交流していれば、チームの方向性が見つかると思います。主将が背負っているプレッシャーをみんなと一緒に軽くしてあげてあげてほしいです。

元主将(3年生) 三平 弦徳さん (みつら げんと)

Q6 どんなことを意識して練習していますか?

A6 (小田垣さん) 一日一日を丁寧に練習を積み上げることです。

(後藤監督) 練習メニューを与えていますが、チームの柱の一つが「自主自立」。ほとんどを部員に任せています。お互いに厳しさをもち、刺激し合おう方が成長できます。言う側も自信がなければ



顧問 後藤 剛先生

Q7 部活動を通してこれから取り組んでいきたいことは?

A7 (後藤監督) 一流の競技者をめざしていますが、まずは一流の高校生。人から愛されて応援される、誰の見本にもなれるように育ててほしい。高校生活を振り返った時に、人としての礎をつくることのできる3年間にしたいと思っています。



二次元コードを読み取ると陸上競技部のコメントが見られます。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!